

サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案(例)

利用者氏名(児童氏名)	松木 はな	障害程度区分	*****	相談支援事業者名	*****
障害福祉サービス受給者証番号	*****		*****	計画作成担当者	*****
地域相談支援受給者証番号	*****	通所受給者証番号	*****		

計画作成日	*****	モニタリング期間(開始年月)	*****	利用者同意署名欄	*****
-------	-------	----------------	-------	----------	-------

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>本人：お父さん(夫)と建てて暮らした思い出がたくさんこの家で、最期まで愛犬チコと暮らしたい。できることは自分でしたい。できないことは誰かにお願いするしかない。</p> <p>長女：あまり帰省できず、母は耳がとおいから電話もなかなかできないので心配。母の思いに添いたいが、なにかあったときに不安。</p> <p>長男：自宅で暮らしたい母の思いは尊重したい。それが続けられるように元気でいてほしい。市内に住んで時々様子を見に来ているが、仕事が忙しいときも多く、なにかあっても駆けつけられるわけではない。サービスを使って、安心な生活をしてほしい。</p>
----------------------------	---

総合的な援助の方針	*****
長期目標	*****
短期目標	*****

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	*****	*****	5か月後	*****	*****	6か月後	*****
2	*****	*****	6か月後	*****	*****	6か月後	*****
3	*****	*****	12か月後	*****	*****	6か月後	*****
5							
緊急	<p>【災害時】 耳が聞こえにくい、避難情報がわかりにくい。長距離歩けない。足元不安定だと歩きにくい。愛犬チコ(チワワ)有</p>	<p>自分でできる備えを行う。近隣住民の理解と協力を得て、避難時の声掛けや車椅子移動を支援できるようにし、避難訓練を行う。</p>		<p>【インフォーマルサービス活用】 自分で；避難持ち出し袋準備 地域で：災害時の避難の声掛け、避難の支援について共有し、訓練を実施 ※愛犬チコについて、緊急時の確認をする</p>	<p>地域の人に状況を理解してもらおう。自分でできる避難準備や家具固定などを行う。地域の人と良い関係を維持する。愛犬チコの避難グッズもそろえる</p>		<p>ADLの変化に応じて、避難支援方法を見直す。 愛犬チコについて、避難所などの条件や対応を地域で確認することが必要。</p>

災害時の項目

災害時要配慮者情報計画案【週間計画表】※災害時緊急時情報記載版

利用者氏名(児童氏名)	松木 はな	障害程度区分	***	相談支援事業者名	ひょうのすけ相談室
障害福祉サービス受給者証番号	1234***			計画作成担当者	兵庫 太郎
地域相談支援受給者証番号	5678***	通所受給者証番号	9999****		

計画開始年月	2020年5月1日
--------	-----------

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な生活上の留意点
6:00								<p>骨折のあとから、歩きにくくなっています。歩行時は室内は壁や家具を持ち、外では杖やシルバーカーを利用しましょう。</p> <p>耳が聞こえにくく、防災無線の連絡がわからないことがあります。日ごろから隣近所の人と情報交換をし、回覧板をしっかりと確認しましょう。</p> <p>お薬の飲み忘れに注意しましょう。お薬カレンダーと今日の日にちを、ご飯の時に確認しましょう。</p> <p>緊急時</p> <p>避難情報『災害準備・高齢者等避難準備』発令や、近所の人から避難を伝えに来たら、「ふくし小学校」へ避難します。</p> <p>避難のときは、支援者と近所の人と一緒に避難します。車椅子は近所宅にあるのを持ってきてもらうように準備しています。緊急のときには、近所の人が入ってきて知らせてもらいます。</p> <p>「ふくし小学校」は、地震、水害、台風などすべての時に対応できる避難所です。</p> <p>災害等の状況により、避難しない場合は、備蓄食品・水・薬を使用して生活します。</p> <p>緊急連絡先は、第1優先が市内に住む子、第2は市外に住む子です。緊急時や、災害時の避難や状況が落ち着いたら、居場所を知らせましょう。</p> <p>※愛犬チコちゃんについて要確認</p>
8:00								
10:00								
12:00								
14:00								
16:00								
18:00								
20:00								
22:00								
0:00								
2:00								
4:00								

平時の週間プランを記載

災害時のプラン

<p>予想される困り事とその対応等</p> <p>長距離の歩行が難しく、足元が悪いと歩きにくい ⇒避難する際には、車椅子を利用します</p> <p>たくさん荷物を運べない ⇒必要最低限の物資を入れた防災リュックを用意します。</p> <p>ひとりでは避難情報を得ることが難しい ⇒近隣の人に避難を知らせてもらえるように伝えます。</p> <p>本当に逃げられるかどうか分からない ⇒防災訓練に参加して、避難の際の注意点をみんなで共有します</p> <p>チコちゃんもつれていく ⇒対応の確認、必要物品の確認を行います。</p>	<p>持ち出し品等 そなえ</p> <p>玄関の横にリュックを置きます。リュックの中には、薬1週間分、予備の眼鏡、リハビリパンツ3枚(ビニールに入れて密封)、懐中電灯、靴下、軍手、タオル、保存食と水(1日分)、現金、保険証等コピー、連絡先メモなどが入っています。履きやすい靴と一緒に置いています。ヘルメットと懐中電灯、杖も一緒に置いています。避難のときには、持って逃げましょう。愛犬チコちゃんの荷物とドッグフード、リードなどを用意しておきます。</p>
---	--